

宇宙（そら）と海と大地につながる町・南紀串本プロジェクト

【事業主体】串本町、（一社）南紀串本観光協会
【全体事業費】237,374千円（うち、わがまち元気プロジェクト支援補助金5,000千円）
【事業期間】令和4年度～令和6年度

【目的】

串本町は、マリナクティビティやジオパーク、熊野古道など魅力ある観光コンテンツに加え、2022年末には日本初の民間ロケット発射場が稼働する予定です。

多くの宇宙関連企業の方々や観光客の来訪が予想される今こそ、受け入れ基盤を整備し、「宇宙(そら)」「海」「大地」が総合的に体験できる町としての魅力づくりを行うことで、交流人口、関係人口の増加につなげ、地域経済を活性化させます。

① 来訪者の受入・交流の拠点づくり (225,814千円うち元気プロ 2,400千円)

● 宇宙教育及び観光、交流の拠点として旧古座分庁舎を整備

★ 宇宙ガイドを養成

- ・実際のロケット発射映像や南紀の魅力を体感できる映像コンテンツの制作
- ・企業オフィスやワーケーション誘致のため、ワークスペースやテレワーク環境を整備
- ・町内の小中高生・住民と企業とのワークショップを開催

② 国内外への情報発信 (8,940千円うち元気プロ 600千円)

● 漫画「宇宙兄弟」と連携したプロモーション強化

- ・「宇宙兄弟」の著作権の使用、コラボ商品の開発

● 宇宙（そら）をキーワードとした新たな串本ブランドの構築

★ シティドレッシングによるPR

※シティドレッシング = 気運醸成のため、街中を大型ポスター等で飾ること。

★ ロケットフォト、映像コンテストの開催

- ・串本の魅力をまとめてWEBサイトで発信（多言語）

③ 体験メニュー造成、教育旅行誘致 (2,620千円のうち元気プロ2,000千円)

● ロケット+地域資源を最大限活用した体験メニュー開発

- ★ 遊漁船を活用したロケット打上げや周辺の見どころを周遊するクルーズの実施
- ★ 宇宙・海・大地をテーマにした通年で楽しめる体験メニューの実施
(星空ツアー、パラグライダー体験、珍魚釣り体験など)
- ★ 造成した体験メニューを活用したモニターツアーの実施

● ロケット、観光、体験メニューを組み合わせた教育旅行の誘致強化

- ★ 各メニューの品質向上のため、事業者やガイドへの接遇研修を実施
- ★ 新たな営業ツールを作成し、旅行代理店等への誘致活動を積極展開

提供：スペースワン社

★わがまち元気プロジェクト対象事業

【目標 R1⇒R6】

観光客数 1,655千人⇒2,100千人
宿泊者数 530千人⇒670千人
教育旅行誘致 12校⇒24校